

## 《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

\* 科目 No. 0604

## 科目概要記入欄

1. 開設大学	県立広島大学		開催方法	■対面（サテライトキャンパスひろしま）	
				□オンライン（同時・録画・資料提示）	
				□その他（ ）	
	正式科目名 副題	地域情報発信論		配当年次	2-4年
				受入学年	
	学問分野	番号	41	名称	複合系 教養
3. 担当教員名	広谷大助, 藤井宣彰, 吉田倫子, 伊藤俊 他				
4. 単位数	2単位	5. 開講学期	前期集中		
6. 開講期間 曜日・時間	2023年8月28日（月）～ 2023年8月31日（木） 10:00～17:00（日によって終了時間は多少前後する）				
7. 基礎知識の有無	2. 「基礎知識を必要としない科目」				
8. 募集人数	5人	9. 選考方法	抽選		
10. 科目内容・ 授業計画	<p>新聞で報じられた地域の情報を素材として、新聞の読み方、取材対象の見方、記事作成の手法を学ぶとともに、新聞情報の分析を通じて地域の諸問題を掘り下げていく。</p> <p>テーマ（2022年度はヒロシマの空白：証を今後も残すためには）に沿った記事を読み、課題を設定した上で、現地へ出向いて取材し、意見交換を経て記事をまとめるなど、地域情報の受信・発信の方法を学ぶ。さらに、グループで課題解決への提案をまとめ、プレゼンテーションを行うことを通じて議論を深める。</p> <p>授業の流れは概ね次のとおり（一部変更の可能性あり）。</p> <p>事前課題：試読期間（7月下旬予定）に配付された新聞を読み、記事を選んで概要をまとめ、意見を述べる</p> <p>第1日：オリエンテーション、事前課題の確認、テーマに関する講義</p> <p>第2日：取材計画、取材実習（フィールドワーク）、記事風レポート作成</p> <p>第3日：記事風レポート発表、グループ討議、プレゼンテーション準備</p> <p>第4日：プレゼンテーション最終準備、プレゼンテーション、振り返り討議</p> <p>事後課題：授業で学び得たことを踏まえて、新たな課題を発見し、レポートをまとめる</p>				
11. 試験・評価方法	課題レポート（50%）及びグループ討議、プレゼンテーションを含む、授業への参加度（50%）で評価します。なお、事前課題・事後課題を含む全ての課題レポートが提出されていない場合には単位が出ません。				
12. 別途負担費用	試読期間中の新聞購読代金（200円（40円×5日）の予定）及びフィールドワーク中にかかる入場料等の費用				
13. その他特記事項	本科目は基本グループで作業やフィールドワーク等を行うため、4日間全ての出席が必須となります。よって、1日でも出席できないことが予め分かっている場合には受講は避けて下さい。事前課題につきましては担当教員から受講者へ別途直接連絡します。				
14. 社会人受講	科目等履修生（単位付与）として受け入れ		<input checked="" type="checkbox"/>	否	
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ		<input checked="" type="checkbox"/>	否	

※コロナ禍の影響により、対面授業はオンライン（同時・録画・資料）へ変更になる場合があります。